

**FUJITEC**

# 2021年3月期 第2四半期連結業績概要

2020年11月6日

**フジテック株式会社**

(東証一部：6406)



## 【2021年3月期第2四半期の概況】

- COVID-19の影響により前期比売上高11.0%減、営業利益18.9%減。業績は改善傾向
- 新設市場が停滞も、社会基盤である保守事業は各国で継続し、安定的に推移
- 4月に販売開始した新標準機「エクシオール」は新常态（ニュー・ノーマル）で求められる「非接触ボタン」など衛生面を強化する機能が高い評価。新設・既設向け、国内外で展開を推進
- グローバル市場展開によるリスク分散の効果。日本と東アジアの業績は回復傾向に。日本は受注が増加。北米・欧州およびインドはCOVID-19からの経済回復が焦点
- 中長期的な成長に向けた生産能力強化のため、日本と台湾・インドで生産の自動化を推進中

## 【2021年3月期の業績予想】

- 今年5月に公表した予想は据え置き。配当予想は年間50円

## 【今後の戦略的方向性 策定への取り組み】

- 事業戦略ならびに資本政策などの方向性を今年12月4日をめどに公表
- COVID-19の再拡大を考慮し、中長期的な視点に基づく戦略的方向性を検討

## 2021年3月期 第2四半期業績ハイライト

FUJITEC

- COVID-19により抑制された経済活動が再開したものの回復は緩やか、第2四半期は、前期比 減収減益

(単位：百万円)

	2020/3 2Q	2021/3 2Q	前期比(%)
売上高	85,859	76,418	△11.0
国内	34,309	31,168	△9.2
海外	51,549	45,250	△12.2
営業利益	6,218	5,041	△18.9
経常利益	6,926	5,611	△19.0
親会社株主に帰属する 四半期純利益	4,587	3,438	△25.0
1株当たり四半期純利益	56.71円	42.41円	-

- COVID-19の影響下においても社会的基盤の不可欠な業務である保守などは堅調
- 感染再拡大の懸念による先行き不透明感が、事業活動に影響が続く
  - ✓ 新設事業
    - 中国で3月以降需要回復。台数ベースで前期並みに推移
    - その他の国・地域では、新規建築計画の停滞から需要減少
  - ✓ アフターマーケット事業
    - モダニゼーション・修理：計画の再開と延伸の二極化
    - 保守：社会基盤の不可欠な業務として継続。事業への影響は限定的
- ▶
  - いち早く経済活動を再開した中国の景気は回復基調
  - 社会基盤を維持する保守事業の安定性が、COVID-19の影響を軽減

- 安全対策の徹底
  - ✓ お客さまや関係先、従業員の“安全・安心”の確保を最優先に感染症拡大の防止
  - ✓ 各国の感染状況や政府の施策に従い、在宅勤務などの3密回避の行動を継続
- 事業戦略の推進
  - ✓ 社会基盤である保守事業の安全で確実な提供を継続
  - ✓ 新標準型エレベータ「エクシオール」の拡販、感染症対策機能の充実が後押し
    - 今年4月に日本で販売開始。緊急事態宣言解除後の6月以降に営業活動を本格化し、多数納入
    - エレベータをタッチレスで操作できる「非接触ボタン」、3密を避ける「混雑度表示」など衛生面を強化する当社独自技術が、国内に限らず海外に拡大
    - 「非接触ボタン」のラインナップ拡充。国内外で受注活発
  - ✓ エスカレータのクリーン機能を強化
    - エスカレータの「ハンドレール除菌装置」を商品化
  - ✓ オペレーション戦略
    - 日本・台湾・インドで生産の自動化設備を導入し、生産能力強化を推進中

# 参考資料：非接触ボタンの多彩なバリエーション

- エレベータをタッチレスで操作できる「非接触ボタン」は、新設、モダニゼーション、修理と用途に応じて幅広く対応

## 【単体型】



ボタンに触れずにエレベータの呼び登録や行き先階登録が可能

## 【ハイブリッド型】



プッシュ式ボタンと非接触ボタンを併設

## 【一体型】

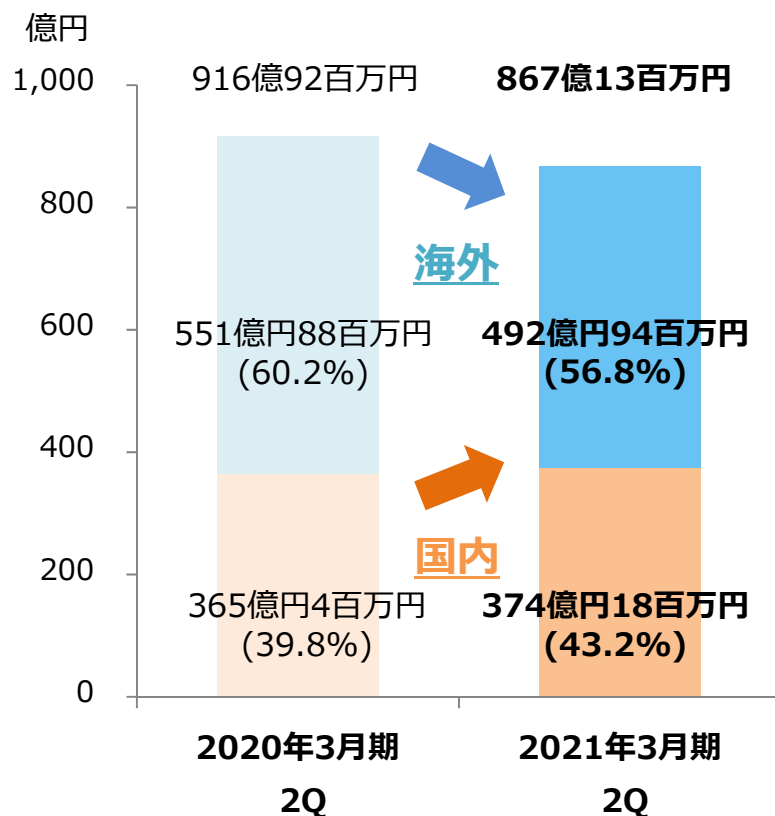


プッシュ式ボタンと非接触ボタンを一体化

非接触ボタン：ボタンに触れずエレベータを操作できるため衛生的。操作方法は従来のエレベータと同じで、簡単に利用可能

# 2021年3月期第2四半期 受注高

- 当期の受注高合計は、867億13百万円（前期比5.4%減）



グラフ内の数値：受注金額(構成比率)

## 【国内受注】374億18百万円(前期比2.5%増)

- 新設事業
  - 受注増加。官庁向けが伸長。一方でホテル・店舗向け中心に民間向けの需要停滞
- アフターマーケット事業
  - モダニゼーション工事は前期並みに推移
  - 保守は、堅調に推移

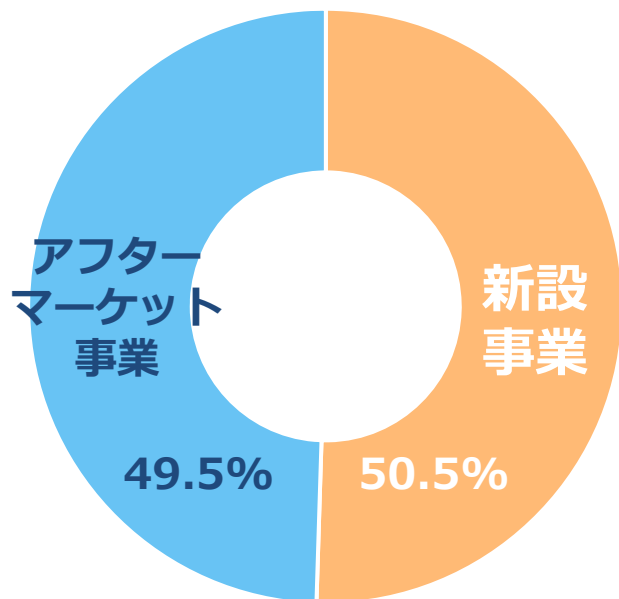
## 【海外受注】492億94百万円(前期比10.7%減)

- 新設事業
  - 東アジアは、COVID-19の影響で減少
  - 南アジアは、シンガポール・インドネシア・マレーシアで大型案件受注。インドで減少
  - 米国で前期並みに推移
- アフターマーケット事業
  - 北米でモダニゼーションが減少

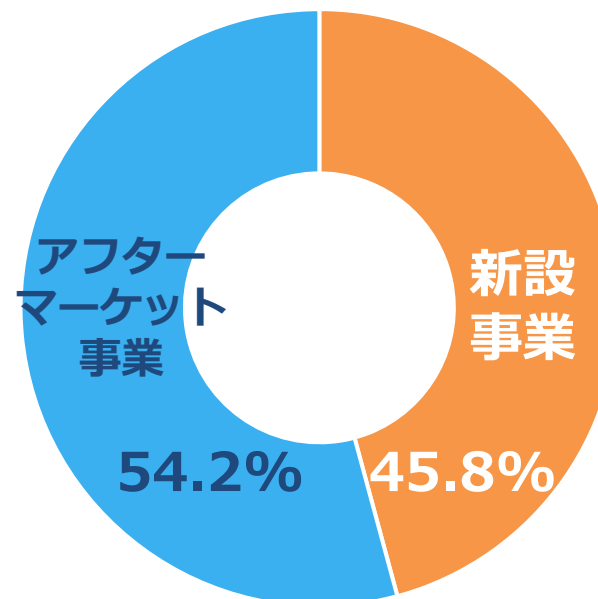
# 事業別売上高構成比率

- COVID-19の影響による、新設事業の回復遅れと保守事業の堅調な推移でアフターマーケット事業の売上比率が高まる

2020年3月期2Q



2021年3月期2Q





## 2021年3月期第2四半期セグメント別業績

FUJITEC

- 当期は、全セグメントで前期比 減収減益
- 東アジアは、売上高の減少幅が改善し、回復の兆し

(単位：百万円)

	売上高			営業損益		
	2020/3 2Q	2021/3 2Q	増減(%)	2020/3 2Q	2021/3 2Q	増減額
日 本	35,659	32,550	△8.7	2,019	1,593	△425
東 ア ジ ア	34,840	29,994	△13.9	2,546	2,256	△290
南 ア ジ ア	8,089	6,880	△14.9	1,178	1,124	△53
北米・欧州	12,579	11,347	△9.8	490	68	△422
小 計	91,168	80,772	△11.4	6,235	5,042	△1,192
調 整 額	△5,309	△4,353	-	△17	△1	+15
合 計	85,859	76,418	△11.0	6,218	5,041	△1,177

# セグメント別業績比較



- 売上高と営業利益を1Qと2Qで比較し、地域別にCOVID-19の影響を分析

## 売上高

(単位：百万円)

売上高	1Q	2Q	差異
日本	15,455	17,094	+ 1,638
東アジア	10,754	19,239	+ 8,485
南アジア	4,070	2,810	△ 1,259
北米・欧州	5,918	5,428	△ 490
合計	36,199	44,573	+ 8,373

- 日本と東アジアは回復傾向
- 南アジアと北米・欧州は影響が続く

## 営業利益

(単位：百万円)

営業利益	1Q	2Q	差異
日本	130	1,462	+ 1,332
東アジア	723	1,532	+ 808
南アジア	801	323	△ 478
北米・欧州	△ 236	304	+ 541
合計	1,419	3,623	+ 2,204

- 売上の回復傾向で日本と東アジアは利益増加
- 南アジアは売上低下で減益

# セグメント別 COVID-19の影響

	主な影響
日本	<ul style="list-style-type: none"> <li>● <b>売上</b> : 工事延伸・中断が発生も緊急事態宣言解除後は持ち直し</li> <li>● <b>受注</b> : 民間の回復が遅いが、官公庁向けの新設が増加</li> <li>● <b>生産</b> : 影響は限定的</li> <li>● <b>保守</b> : 影響は限定的</li> </ul>
東アジア	<ul style="list-style-type: none"> <li>● <b>中国</b> : 3月以降はほぼ正常化。受注は大手デベロッパーの活動が復調。出荷台数が回復。生産はCOVID-19前の稼働率に戻る</li> <li>● <b>香港</b> : モダニゼーションが堅調で、保守が増加</li> <li>● <b>韓国</b> : モダニゼーションなどアフターマーケットが堅調</li> <li>● <b>台湾</b> : 新設・アフターマーケットともに順調</li> </ul>
南アジア	<ul style="list-style-type: none"> <li>● <b>シンガポール</b> : 政府景気刺激策で正常化。保守・修理工事が増加</li> <li>● <b>インド</b> : 一部エリアのロックダウンで受注は減少するものの、生産・販売活動は継続中。保守は堅調に推移。南アジアへの輸出順調</li> <li>● <b>マレーシア他</b> : 新設工事で大型受注があるものの受注減少</li> </ul>
北米・欧州	<ul style="list-style-type: none"> <li>● <b>米国</b> : 新設工事の減少で売上に影響</li> <li>● <b>カナダ</b> : 影響は限定的で新設工事が増加</li> <li>● <b>英国</b> : 影響は限定的で新設工事が増加</li> </ul>

# 2021年3月期3Q-4Qの見通し



	3Q-4Q セグメント別の見通し
日本	<ul style="list-style-type: none"><li>● 経済環境の不透明感が続く。官庁系、大型案件の受注が牽引。民間受注の回復に遅れ</li><li>● 売上は計画通りの進捗</li><li>● 新設・アフターサービスともに「非接触ボタン」など感染症対策への関心が高い</li></ul>
東アジア	<ul style="list-style-type: none"><li>● 中国の受注は官庁系、大手デベロッパーは復調するも、中小の回復に遅れ。中国の今期売上は、順調に進捗</li><li>● 他地域の受注活動は、COVID-19前には戻らず</li><li>● 他地域の売上は、工事の延伸などが影響を及ぼす</li></ul>
南アジア	<ul style="list-style-type: none"><li>● シンガポールはCOVID-19の影響が収束し、計画が順調に進行</li><li>● 南アジア全体では、新設受注が復調も、モダニゼーションが低調。売上は復調傾向に。地域によって工事の延伸などが発生</li><li>● インドは規制緩和があるも、経済環境の回復に遅れ</li></ul>
北米・欧州	<ul style="list-style-type: none"><li>● 米国は新設が堅調に推移するも、モダニゼーションの計画延期など影響あり。売上はプロジェクト延伸で回復に遅れ</li><li>● カナダは新設受注案件の一部凍結状況が続くが、計画が順調に進行</li></ul>

## 2021年3月期連結業績の予想は据え置き



- 連結業績は前期比 減収減益を想定も、日本は増益へ

(単位：百万円)

	売上高			営業利益		
	2020/3 (通期)	2021/3 (通期予想)	増減%	2020/3 (通期)	2021/3 (通期予想)	増減額
日 本	74,751	70,000	△6.4	4,891	5,000	+108
東 ア ジ ア	74,748	64,000	△14.4	5,297	3,600	△1,697
南 ア ジ ア	16,379	16,000	△2.3	2,135	1,700	△435
北米・欧州	25,443	25,000	△1.7	1,045	600	△445
小 計	191,323	175,000	△8.5	13,370	10,900	△2,470
調 整 額	△10,091	△10,000	-	5	△200	△205
合 計	181,232	165,000	△9.0	13,375	10,700	△2,675

## 投資計画ならび配当は予定通り実施

**FUJITEC**

設備投資額・減価償却費・研究開発費

(単位：百万円)

	2020/3	2021/3	増減額
設備投資額	3,523	5,700	+2,177
国内	2,392	3,200	+808
海外	1,131	2,500	+1,369
減価償却費	3,131	3,500	+369
研究開発費	2,208	2,500	+292

配当金

(単位：円)

	2020/3	2021/3	増減額
配当金	50	50	—
中間	20	20	—
期末	30	30	—

# “新たな戦略的方向性” 策定の進捗

本年8月7日に事業戦略や資本政策などについて“新たな戦略的方向性”の年内公表を発表

背景	<ul style="list-style-type: none"><li>• 現中期経営計画“Innovation, Quality &amp; Speed”を初年度に達成</li><li>• COVID-19が今後の経営に与える影響</li><li>• ステークホルダーの皆さまからの意見</li></ul>
----	--

進捗 状況	<ul style="list-style-type: none"><li>• 事業戦略ならびに資本政策について議論</li><li>• 感染再拡大の懸念から経済環境への影響を想定した、新たな戦略的方向性の策定を検討</li></ul>
----------	--



中長期的な視点に基づく、“新たな戦略的方向性”  
今年12月4日をめどに公表

**FUJITEC**



## 参 考 資 料



クリエイティブ スタジオ 東京（東京都港区）

# 参考資料：第2四半期連結バランスシート

**FUJITEC**

(単位：百万円)

	2020/3末	2020/9末	増減額	備考
流動資産	140,884	138,593	△2,290	
現金及び預金	57,024	60,290	+3,266	日本、南アジアでの増加
受取手形及び売掛金	61,626	54,552	△7,074	日本での減少
棚卸資産	19,321	20,449	+1,127	
その他	5,053	5,816	+762	
貸倒引当金	△2,142	△2,514	△372	
固定資産	52,697	54,959	+2,261	
有形固定資産	34,188	33,894	△293	設備投資+1,296 減価償却△1,428 為替ほか△161
無形固定資産	3,640	4,793	+1,153	
投資その他の資産	14,868	16,270	+1,401	
総資産	193,581	193,553	△28	
流動負債	70,083	69,580	△503	前受金+3,374 支払手形及び買掛金△463 電子記録債務 △1,532 短期借入金△1,532
固定負債	4,783	4,931	+147	
純資産	118,714	119,041	+326	利益剰余金+1,004 為替換算調整勘定△1,803 その他有価証券評価差額金+869
自己資本比率	55.2%	55.3%	+0.1%	
B P S	1,318.59円	1,320.94円	+2.35円	

## 参考資料：キャッシュフローの状況

FUJITEC

(単位：百万円)

	2020/3 2Q	2021/3 2Q	増減額
現金及び現金同等物期首残高	25,902	28,181	+2,278
営業活動キャッシュ・フロー	5,786	12,292	+6,505
投資活動キャッシュ・フロー	△2,551	△7,693	△5,142
フリーキャッシュ・フロー	3,235	4,598	+1,363
財務活動キャッシュ・フロー	△2,818	△4,080	△1,261
現金及び現金同等物四半期末残高	25,566	27,829	+2,263

# 当社の先進技術を搭載した「エクシオール」

FUJITEC

- お客様の要望に独自技術で応えた、新標準型エレベータ
- 従来の標準機種を超える機能と品質、衛生的で心地よく利用できる機能が充実

## スタンダードを超えた 新しいエレベータ

業界初\*、クーラー標準装備

快適な空間の提供

業界最速\*、最大定格速度

分速120mに対応、高層建築に対応

業界最大\*、大型液晶モニター

画面が従来の4倍以上、視認性向上

\* 2019年12月時点。当社調べ。  
国内標準型マシンルームレス・エレベータにおいて

## 「新しい生活様式」に応えた 充実のクリーン機能

非接触ボタン

ボタンに触れず操作が可能



混雑度表示



かご内の混雑状況を表示し、3密を回避の判断に

イオンフル

「プラズマクラスター技術」で空気を浄化

抗菌ボタン

抗菌性樹脂を練りこみ、細菌の増殖を抑制

# 参考資料：衛生面機能が充実の新型エレベータ



- 新標準機種「エクシオール」は感染症対策に対応

## 【非接触ボタン】



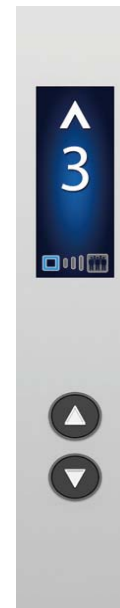
ボタンに触れずエレベータの呼び登録や行き先階登録が可能



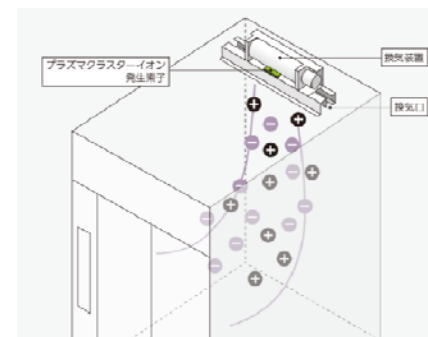
## 【混雑度表示】



カゴ内の混雑状況を5段階で表示。エレベータの混み具合を事前に把握して、3密を避ける判断の一助に



## 【イオンフル】



浮遊カビ菌やタバコ付着臭を分解・除去する「プラズマクラスター技術」を活用し、エレベータ内の空気を浄化

## 【抗菌ボタン】

素材に抗菌性樹脂を練り込んでおり、細菌の増殖を抑制。耐久性に優れ、劣化の心配がありません


# 参考資料：エスカレータのクリーン機能

- ・ ソーシャルディスタンスの確保やハンドレールの抗菌を目的とした商品をラインナップ。新設・既設に対応

## 【ハンドレール除菌装置】

**除菌加工をお知らせ**

ハンドレールなどにラベルを貼付。利用者に安心を提供



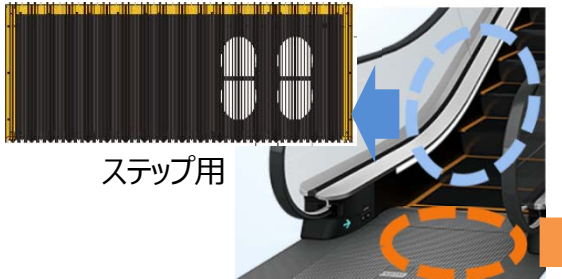
**除菌の仕組みイメージ**

**紫外線**

**除菌装置**


ハンドレールに紫外線を照射するLEDを搭載

## 【ステップ・フロアプレートラッピング】



ステップ用

フロアプレート用



間隔をあけてご利用ください  
PLEASE MAINTAIN SOCIAL DISTANCING

## 【抗菌剤入りハンドレール】

表面のゴムに練りこまれた抗菌剤が、ハンドレールに付着した菌の繁殖を抑制

## 【ハンドレールコーティング】

ハンドレールに抗菌コーティング剤を塗布

# 参考資料：主な受注・納入実績

FUJITEC

## 新設工事

完成



ザ・リッツ・カールトン日光  
(日本・栃木)  
エレベータ計9台

完成



Rustomjee Urbania Azziano  
(インド)  
エレベータ計19台

## モダニゼーション工事

進行中



Three Garden Road  
(香港)  
エレベータ計44台

進行中



One Raffles Place  
(シンガポール)  
エレベータ計19台

## 参考資料：会社概要

FUJITEC

社名	フジテック株式会社
設立	1948年2月 (1974年2月東証第一部上場)
本社	ビッグウイング 滋賀県彦根市宮田町591番地1
事業内容	エレベータ、エスカレータの研究開発・製造・販売 据付・保守
資本金	125億33百万円（発行済株式数90,067,000株）
役員	代表取締役社長 内山高一 取締役：9名（うち社外5名） 監査役：4名（うち社外3名）
従業員数	連結 10,366名（単独 3,108名）
関係会社	34社（内、連結子会社19社） （米州、東アジア、南アジア、欧州・中近東）



本資料は、当社の事業及び業界動向について当社による現在の予定、推定、見込み又は予想に基づいた将来の展望についても言及しています。これらの将来の展望に関する表明は、様々なリスクや不確かさが伴っています。

既に知られた、もしくははまだ知られていないリスク、不確かさその他の要因が、将来の展望に対する表明に含まれる事柄と異なる結果を引き起こさないとも限りません。当社は、将来の展望に対する表明、予想が正しいと約束することはできず、結果は将来の展望と著しく異なることもありえます。

本資料における将来の展望に関する表明は、2020年11月6日現在において利用可能な情報に基づいて、当社によりなされたものであり、将来の出来事や状況を反映して将来の展望に関するいかなる表明の記載をも更新し、変更するものではありません。

2020年11月6日

## フジテック株式会社

2021年3月期 第2四半期連結業績概要

